

令和 8 年度 学校評価報告書 1 (計画段階 ・ 実施段階)

いずれかを○で囲む

学校名		福岡市立 高等学校	学校経営方針・学校教育方針	今年度の重点目標	評価 (総合)	
学校長	ふりがな	おおす りゅういちろう	1 本校の教育目標 教育基本法の精神に則り、急速に進展する国際化社会・情報化社会などの社会的変化に対応し、生涯にわたって主体的に生きるための人間力を培うことを目標とし、本校の校訓である「自立」「共生」「創造」を柱として、自ら学ぶ力を身につけた社会人を育成する。 2 めざす学校像・生徒像 【学校像】：相互に認め合い高め合う温かい信頼関係の中で、安心して個々の個性や能力を最大限に発揮しチャレンジすることを通して、豊かな心と未来を生き抜く力が育まれる学校 【生徒像】：自他を重んじ、生涯にわたって豊かに生きるために学びを深め続けていく生徒	1 今年度の重点目標 「自ら学ぶ」「ともに学ぶ」「新たに創る」 2 実現のための方策 (1) 本校独自の魅力化の推進 (R9からの総合学科改編・共学化に向けた準備と試行) 各学科の在り方及び魅力化に向けた特色ある取組の実践に努めるとともにR9年度以降に向けたそれぞれの教育的資源を生かした学びのスタイルの確立を図る。 (2) キャリア教育の充実と男女共同参画社会で活躍できる人物の育成 男女共同参画社会で活躍できる人物の育成を目指して、規範意識を高めるとともに「キャリア教育融合型」の「ACTION：自分をデザインする探究」の体系化を図る。 (3) 人権教育の推進 学校教育全体を通して、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を育むとともに、生徒の実践的態度や行動につながる人権教育を推進する。	学校自己評価	学校関係者評価
	氏名	大洲 隆一郎				
校長本校在任年数		5年				
学校関係者評価委員会委員長	ふりがな	さがら てつや				
	氏名	相良 哲哉				

昨年度の成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> 質の高い探究を実現するため、地域連携コンソーシアムを設立し、「総合的な探究の時間」のカリキュラム等について検討する。 不登校生徒への対応を充実させるため、教育相談委員会で情報共有を行うとともに、校内及びJSC・SSWとの連携を強化していく。
-----------	---

評価項目	目標及び具体的な方策等		学校自己評価	取組状況・成果・課題	学校関係者評価	学校関係者評価委員会からの意見等	今後に向けての方針・改善点
	目標	具体的な方策					
教育課程・学習指導	探究的な学びの実現に向けた授業改善の推進	進路指導部及び総合学科準備室を中心に、総合的な探究の時間のカリキュラムや内容について検討・実践する。 先進校視察や校内研修により、PBLに基づいた各教科の授業について研究する。					
	学科改編に向けたカリキュラムの検討	社会・地域課題への取組や国際交流の充実などを取り入れたカリキュラム作成に取り組む。 総合学科準備室において、福岡女子高校のリソースを活かしたカリキュラム作成に取り組む。					
生徒指導	いじめ・不登校・中途転退学等の諸課題に対する組織的対応の充実	SCやSSW、通級指導教員等との連携強化により校内生徒支援体制を充実させるとともに、保護者、学校外の諸機関等との連携を積極的に行い、生徒支援の充実を図る。 いじめ未然防止のための取組の研究・実践を行うとともに、各学期のアンケート等による情報収集・定期的な情報共有により早期対応に努める。					
	豊かな人権感覚の醸成と生徒一人ひとりを大切に作る学校づくり	人権特設授業は、事前研修等も含め全職員で取り組み、生徒の実態に合わせた授業を実施する。 職員と生徒との対話を大切にし、相互に認め合い、高め合う温かい信頼関係を構築していく。					
進路指導	社会的・職業的な自立を目指したキャリア教育の推進	ガイダンスや面談など、進路に関する支援をとおして、生徒一人ひとりの進路意欲を高め、進路目標の実現を図る。 「進路の手引き」を活用した指導や学年担任との進路情報共有を推進し、主体的に進路実現に取り組む意識の涵養を図る。					
	第一希望進路実現に向けた進路指導体制の充実	各学年担任の連絡を密にするとともに、生徒の状況把握や最新の情報提供をするなどして、多様な進路実現を目指す。 生徒との定期的な個別面談をとおして、生徒の進路実現に向け、情報把握およびサポートの充実を図る。					
魅力ある高校教育の推進	主体性を育む教育活動の推進	総合的な探究の時間や課題研究などにおける地域・企業・行政等と連携した学習や国際交流の取組を推進する。 行事や校則など、生徒会を中心に生徒主体で考えさせ、自治的風土を醸成する。					
	教育活動の特色と魅力を発信する広報活動の実施	本校の魅力を地域や保護者等に広く伝えるため、Instagramを活用し、情報発信の充実を図る。 高校「百体襲等」において「中学生および中学校教員、保護者等」へ学校改革に向けた取組などの情報発信を定期的に行う。					

※ 学校自己評価は、5段階評価(A…目標を大幅に上回る達成度、B…目標を上回る達成度、C…目標どおりの達成度、D…目標を下回る達成度、E…目標を大幅に下回る達成度)で成果や取り組み状況等について記入すること。
 ※ 学校関係者評価は、学校自己評価について5段階評価(A～E)で評価すること。